

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆財務省、3月の国の税収3.3%増 企業業績拡大で法人税2割増

・財務省は3月の国の一般会計税収が前年同月比3.3%増の4兆2701億円だったと発表。法人税は20.7%増の4449億円。企業業績が拡大した効果が出た。消費税は1兆4441億円と6.3%増。国内消費の増加基調に加え、輸入額の増加により税関分の税収が好調。相続税は9.2%増の5189億円。所得税は5.1%減の1兆2215億円。給与税収減などが要因。

◆自社株買い22兆円、5年連続増で過去最大 リクルートは3500億円

・上場企業による自社株買いが拡大。2025年度に設定した自社株買いの取得枠は全体で22兆3250億円と前年度比18%増。増加は5年連続。政策保有株の売却や資本効率の改善策として注目する企業の広がりが背景に。24年度は前年度比85%増の18兆9827億円と大きく伸びた。25年度はさらに増えて過去最大を更新。

◆日本、UAEから原油2000万バレル追加調達へ ホルムズ通らない経路模索

・日本政府がアラブ首長国連邦(UAE)から原油2000万バレルを追加調達すると合意したことがわかった。事実上の封鎖が続くホルムズ海峡を通らない代替ルートの活用を探る原油の確保を進める。赤沢亮正経済産業相がUAEの担当閣僚とアブダビで会談した際に合意をまとめた。会談後、記者団に日本への供給拡大などを求めたと明らかに。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆横浜建設業協会「建設資機材が急騰」 中東情勢で市に要望

・横浜建設業協会は中東情勢の緊迫化を背景とした建設資機材の急騰に関する要望書を山中竹春・横浜市長に提出した。福嶋隆太郎会長は「石油関連の資機材が急速に値上がりしており、雇用や災害対応に影響が出かねない」と述べた。資機材の急騰に対応した迅速な積算基準の見直し、発注時期を分散させる取り組みの継続などを求めた。

◆東京都心オフィス空室率が3カ月ぶり低下 4月は2.2%

・オフィス仲介大手の三鬼商事が発表した4月の東京都心5区(千代田、中央、港、新宿、渋谷)のオフィス空室率は前月比0.02ポイント低い2.2%だった。企業の拡張移転が相次ぎ、3カ月ぶりに低下した。空室面積は前月の3月と比べて約1400坪(1坪は約3.3平方メートル)減った。大規模ビルの供給がなかったことも背景。

◆米Amazon、物流・配送の受託事業に参入 通販のインフラを活用

・米アマゾン・ドット・コムは自社の物流・配送システムを外部の事業者開放すると発表。荷主企業の物流業務を一括受託する3PL(サード・パーティー・ロジスティクス)に本格参入。米物流企業間の競争が一段と過熱する可能性。自社の物流インフラを活用した新サービスとして「アマゾン・サプライチェーン・サービス(ASCS)」を始めると発表。

《 注目商品 》

■アイリスオーヤマ、室温連動モード搭載のサーキュレーター「WOOZOO 360 i」

・室温変化に応じて自動で運転を制御する「室温連動モード」を新たに搭載したサーキュレーター「WOOZOO 360 i」を発売。エアコンの風が当たる位置に設置するだけで、内蔵の温度センサーが室温の変化を検知し、電源のON/OFFに加え、最適な首振り動作を自動で行う。



■タカラ産業、好きな位置にスライドできる室内物干し

・好きな位置にスライドできる室内物干し。竿を付けたまま壁際へ移動可能で限られた空間を有効活用でき、来客時や使わない時には吊材を簡単に取り外せる。吊材は身長や用途に合わせて560mm～860mmの範囲で高さ調整が可能。



■スカンジナビアンハウジング 最長11.5m、継ぎ目のない一枚板フローリング

・一枚板床材「フルレングスフローリング」の受注生産体制を確立し、本格販売を開始。最大長さ11.5m、最大幅500mmに対応し、部屋の端から端までを継ぎ目なく1枚で構成できるフローリング。1本の木から切り出すことで、連続性のある仕上がりを可能に。

